

ご存知ですか？福祉を支える地域団体 共生のまちづくり推進協議会

共生のまちづくり推進協議会とは…
住民主導型の「共生共働共助」によるまちづくりを目指して事業を展開している団体です。
ここでは共生のまちづくり推進協議会の組織図と、各支援部会の紹介をします。

須恵町共生のまちづくり推進協議会 組織図



子育て支援部会

サークル つくしんぼ(親子交流の広場)
須恵おはなし会(読み聞かせ)
わん・ぴいす(布絵本作成)
ロバの耳(読み聞かせ)
ピッピ(親子同士の交流)

つくしんぼ
たくさん親子が楽しんでいます

障害者支援部会

各種障害に応じた福祉活動

サークル 点訳サークル「ぶどうの会」
音訳サークル「ひばり」
手話の会「ひなたぼっこ」
レスパイト・サークル「ほっと!! こ」
(障がい児の一時預かり)
発達が気になる子親の会「大きな木」

ぶどうの会
点訳活動中です

事務局支援部会

事務局への協力
センター内掲示板の管理
つくしんぼ保険受付 など

事務局
気軽にお立ち寄りください

高齢者支援部会

介護施設・介護予防事業への協力
健康・体力づくりの支援

わくわくデイサロン
参加者の支援をしています



福祉の生涯学習の 拠点として

須恵町長 平松 秀一

共生のまちづくり推進協議会の設立に携わった1人として当時のことをお話しします。元来、須恵町は社会教育を基盤に発展を遂げ、社会教育が成熟されると、次は生涯学習を基盤に据えようという流れになりました。

福祉も生涯学習の一部にあたりますが、当時の福祉事業は福祉団体に補助金を交付するだけで、団体任せの傾向がありました。生涯学習を基盤にするのであれば、福祉事業にも理念を取り入れるべきと、当時の吉松町長と協議し、須恵町の福祉について話しあう「40人委員会」が設立されました。その後、40人委員会は共生のまちづくり推進協議会となり、現在でも、多くの人に共生のまちづくり推進協議会で活動していただいております。

40人委員会設立当初は、さまざまな批判も受けましたが、徐々に町の生涯学習の理念を理解いただき、要

求するだけでなく、自分たちでできることはしていこうという流れに変わってきました。この流れを受け、福祉の生涯学習の拠点となる「地域活性化センター(オイコス)」が建てられました。

共生のまちづくり推進協議会が設立されて15年以上たちますが、現在でも精力的に活動していただき、感謝にたえません。当時の福祉の理念は町のすみずみに浸透し、特に校区コミュニティにおいて、町民が自らボランティアに参加し、地域生活を支えあい安心して住めるまちづくりをしていただいております。

最後になりますが、本町の目指す福祉の生涯学習とは、福祉のまちづくりを町民自らの手によって成し遂げようとするものであります。共生のまちづくり推進協議会がこれからも福祉の生涯学習の拠点として、ますます発展していくことを切に願います。



自分たちでできる事は、 自分たちで！

共生のまちづくり推進協議会 会長 宮園 憲次

日ごろから町民の皆さんには、共生のまちづくり推進協議会(以下、本会とします)のボランティア行事に参加いただき、ありがとうございます。

平松町長の紹介にありますように、本会の創設には、多くの人の須恵町福祉事業への想いと、ご苦労がありました。また、活動開始後も多くの人に関わっていただき、現在の体制ができてきました。今こうして地域活性化センター(オイコス)を拠点として順調に活動を続けることができるのも、そのお陰と改めて感謝するとともに、本会の役割の重要性を感じております。

本会は、須恵町「生涯学習のまちづくり」の基本理念のひとつである「何をしてもらえるのかから 何ができるのか」を活動方針に「自分たちでできることは、自分たちでやろう!」と自発的に集まった、福祉ボランティアの会員によって成り立っております。

本会は、四つの支援部会から成り立っており、全体での行事を行うほかは、各支援部会ごとまたは支援部会内の各会ごとに、独自で自主的な行事を行っております。会員一人ひとりが奉仕の精神で、やりがいや喜びを感じながら活動を継続しております。これからも、ボランティアとして、何ができるか、どうすれば多くの人が参加・利用していただけるかを考えながら、町民皆さんのために役立つ活動を心がけていきたいと思っております。どうか、町民皆さんのご協力をよろしく願います。

今後本会が創設された意義を忘れず、会員一同の協力のもと、「共生のまちづくり」の推進に努めて参りたいと考えております。
町民参加のボランティア活動を推進するため、皆さんの本会への加入をお待ちしております。